

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道58号 <small>おんなみなみ</small> 恩納南バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	沖縄総合事務局
起終点	自： <small>おんなそんあざみなみおんな</small> 沖縄県恩納村字南恩納 至： <small>おんなそんあざなかとまり</small> 沖縄県恩納村字仲泊			延長	6.5km
事業概要 一般国道58号は、沖縄本島西海岸を南北に走る大動脈で、本島中南部の人口集中地域と北部の観光・リゾート地域及び農山村地域を結ぶ主要幹線道路である。恩納南バイパスは、沖縄海岸国定公園に指定されている美しい海岸線が続き、リゾートホテル、ビーチ等が集中している本県有数のリゾート地であり、恩納村内の夏季観光シーズンにおける交通渋滞の緩和、沖縄自動車道へのアクセス向上による沿道環境の改善、観光産業の支援に大きく寄与する道路である。					
H2年度事業化	都市計画決定 不用	H5年度用地着手	H7年度工事着手		
全体事業費	約250億円	事業進捗率	44%	供用済延長	0.4km
計画交通量	39,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 10.5 (残事業) 23.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 119/271億円 事業費：98/249億円 維持管理費：22/22億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 2,854/2,854億円 走行時間短縮便益：2830/2830億円 走行費用減少便益：27/27億円 交通事故減少便益：-2/-2億円	基準年	平成16年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（並行する現道区間の渋滞損失時間がする） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性の向上が見込まれる）					
他6項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 恩納村を含む北部12市町村で構成される北部市町村会及び北部振興会等より、整備促進要望を受けている。 （平成16年11月29日）					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 国道58号現道部については交通量が増加しており、一層の整備促進が求められている。 （交通量T'85=14,960台/日 T'99=22,086台/日 混雑度K'=1.67） 恩納南バイパス沿線に沖縄科学技術大学院大学の建設が決定している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 全体事業費での進捗率は40%、用地買収の進捗率が59%である。 今後は、残事業の橋梁工事（6橋梁中残り3橋）及び改良工事（2.0Km）について事業進捗を図る。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収及び地元協議等が難航し、工事進捗に遅れが生じている。 今後、用地買収及び地元協議を進め工事の進捗を図る。					
施設の構造や工法の変更等 幅員構成の見直し及び建設残土の再利用等により、コスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図 					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。